

# 荒木山通信

2020年12月

第10号

荒木山の古墳  
を顕彰する会

ました。

石柱は高さが六〇cm、一  
辺が一五cmで四面に二行書  
きで行き先が刻んであります。

南面に「志んまち・まつ  
やま」東面に「おちあい・  
つやま」北面に「かつやま  
・だいせん」西面に「あざ  
い・〇〇〇〇」で、西面の

あざいの先の地名が読めま  
せん。どなたか読んで下さ  
れば感謝です。



※宝暦十一年・一七六一年

## 【入会のすすめ】

「荒木山古墳を顕彰する会」



は、県下でも有数の古墳の  
多い北房地域で最古（真庭  
市でも）の古墳、荒木山東  
塚・西塚を顕彰し、学術調  
査を関係機関へ要望し、そ  
の実現を図ることを目的と  
して平成二八年二月に発足  
しました。そして、古墳の  
整備や研修・広報活動等に  
取り組んできました。

また、当会では令和三年  
度から「西の明日香村・道  
の号で俳句を詠み、植物に  
ついて精通されていた人物  
で、道しるべの散逸を懸念  
して保管していたものでし  
た。

なお、車を勝山方面へ進  
むと美川橋から入ってく  
れる道と交わり、そこに道し  
るべがあり「右ハ備中志ん  
まち・左ハかつた・つやま」  
とあり、裏面に「宝暦十一  
年己十月日」とあるから約  
二六〇年前に建てられてい  
ます。

趣旨に賛同し、入会を希  
望される方は、本会役員に  
お申し出下さい。（入会時  
に年会費三千円を納入下さ  
い。）

会員へは、会主催の研修  
会や市の開催する歴史関係  
の講演会などご案内します。

とができ、当時の道筋がわ  
かって楽しいものです。

令和三年度  
**新たな挑戦を！**

コロナウイルスの感染で  
新たな生活スタイルが求め  
られるなど、息苦しい中で  
すが、お元気でお過ごしの  
ことと存じます。

当会の活動につきまして  
は、何時もご理解ご支援を  
いただき有難うございます。

さて、古墳時代前期に築  
かれた荒木山の二基の古墳  
については、昨年度西塚の  
調査をもつて終了し、今後  
は春に柴掻きなど清掃作業  
を行い貴重な古墳の保存に  
努めます。なお、西塚の発  
掘調査については、真庭市  
教育委員会で実施へ向けて  
の準備を進めていただいて  
います。

また、当会では令和三年  
度から「西の明日香村・道  
の整備事業」を実施す  
ることとしています。中身  
は「散策マップ」の作成と、  
現地へ「道しるべ」を建てる  
ものです。殊に、道しる  
べ（看板）の設置につきま  
しては、関係の方々にはご  
理解とご協力を重ねてお願  
い致します。

荒木山通信を愛読いただ  
き有難うございます。

今回から、「北房の古代が  
熱い」にかえて西の明日香  
村（北房地域）の様々なこと  
を「道しるべ」について書いて  
みます。

さて、昭和四十七年はこ  
の里が四五〇mmに迫る集中  
豪雨により、死者一名、重  
軽傷者七名という未曾有の  
自然災害に見舞われました。  
町では災害救助法の適用を  
受け、翌年から河川改修工  
事に着手し、昭和五十一年  
一連の工事を完成させてい  
ます。

この河川改修工事で、行  
方不明になっていた「道し  
るべ」が四十年ぶりに復元  
されました。

その顛末は次のとおりで  
す。

左岸、境橋の袂に設置し  
私たちには、早速備中川の  
ついていますが、その気で探  
せばそれなりに見つけるこ  
とができます。

## 備中川河畔の古代史考

荒木山の古墳を顕彰する会

(一)

顧問 戸村 彰孝

あの頃は十二キロの砂利道を毎日三年間自転車通学をして健脚を競つた。そんな七十年前の自分を懐かしく想い出しながら、古代の備中川の辺に住んだ先人たちの歴史の再現を夢みている。

備中・美作の国境は関川が備中川に合流する湯神の崖が目印だと伝えられた。狭い切り立つ崖下の国道を下り、美川の大柳→鹿田の町内→鹿田橋→下方→垂水へと辿る道は備中川の流れに沿つていた。

国境の設定は七世紀の壬申の乱が終結した後、持統帝の時代に確定した。私たちの北房は備中國英賀郡に属し、川の下流域は美作国真嶋郡となつて幕末まで存続した。真庭市となつた現在でも備中人という意識はしかし、政治上の境界は時代によつて変動し、ようど人もや物は自然の理に従



【桃山遺跡からの出土品】

(須恵器の骨蔵器や綠釉陶器・銅錢など):  
古代吉備文化財センターでの企画展から:

工事の工程に沿つて落合側の川下から遡つて順次進みられていった。旦原→須内→宮前(以上落合町分)→備中平→谷尻→桃山(以上北房町分)である。

作成された報告書は二分冊一千頁にも及ぶ膨大な内容を含む。個々の遺跡が立地している地勢や環境を概存在だったと思われる。備

中川流域にくらべ幾つもの小集団は、縄文・弥生・古墳の各時代に応じて、狩猟採集・農耕・物品の交換・婚姻・交通・治安治水・防

災など全ての生存に係るところがらについて協力して生存したであろう。

そうした河畔の古代人たちの生活の痕跡は僅かな古墳を除いては、久しく埋もれて私たちの前に姿を見せなかつた。その歴史遺産が一斉に目の目を見るに至つた切つ掛けは昭和四十年には雨季の泥濘の中での作業もあつた。毎日の出土品の洗浄整理・報告書の作成は深夜に及ぶことも多かつた。

皆部教諭所跡と菊池家墓所

北房にある史跡の中で、国の文化財として指定されているものに「大谷・定吉墳群」がある。また、真庭市の文化財に指定されている史跡には、「荒木山東塚・西塚古墳」、「下村一号墳」、

「英賀廢寺」、「佐井田城」、「赤茂瓦窯跡」、そして「皆部教諭所跡」と「菊池家墓所」の計七件がある。

これらの中でも、最も古い時代のものが荒木山東塚古墳であり、最も新しいものが今回紹介する皆部教諭所と菊池家墓所である。

皆部教諭所は、文政五年（一八二二年）、現在の下皆部北区に開設された。ここで村民を教えていたのが、儒学者の菊池文理（号は陶愛）である。



## 【菊池家墓所】

で言われた私  
塾であった。  
もう一つの  
史跡、菊池家  
墓所は、皆部



## 【背部教諭所跡】

この教諭所で菊池秋坪が生まれた。天保八年（一八

教諭所跡のすぐそばにある、明治一六年、秋坪の息子であり、当時、東京大学理学部長で日本人初の数学者である菊池大麓が、陶愛と陶愛の祖母理喜の墓を建てた。大麓は後に、東京帝国大学総長、文部大臣、京都帝国大学総長などを歴任す

わる歴史的人物が北房の地を発祥としていることを誇りに思い、志を鼓舞する糧としたいものである。

平城元

備吉古代文七才

（三七年）秋坪が十一才の時、父文理が亡くなり、皆部教諭所は閉鎖となる。秋坪は、下呂部村を離れ、緒方洪庵の「適塾」で学ぶ。その後、福澤諭吉らとヨーロッパに派遣される。明治元年（一八六八年）に秋坪が創設した「三叉学舎」

は、福澤諭吉の慶應義塾と

並んで、洋学塾の双璧とま

家墓所

菊池家  
塾  
もう一つた

【家墓所】  
史跡、菊池家  
墓所は、皆部

120

一方で、誉田御廟山古墳（応神天皇陵）などの古市古墳群は大和盆地近くの内陸部に築造されたのである

十九

北房の古墳も時の首長（豪族）の権力の象徴として造られたのであろう。更なる調査が期待される。



## 【尾上車山古墳にて】

県古代吉備文化財センターへ  
一月二〇日（金）、役員研修として古代吉備文化財センターの見学に行きました。そこでは、センターの方から展示品についての詳しい説明を受けました。中国自動車道の建設に伴つて昭和四八年に発掘された北房の桃山遺跡からの出土品も展示してありました。須恵器の骨蔵器や地方では珍しい高級食器の緑釉陶器、

延喜通宝という希少な銅錢などです。装飾品と思われる水晶玉や髪をまとめるための笄、化粧に使う毛抜きなどもあり、「墓主は都で暮らした高貴な女性と推定され、故郷で安らかな眠りにつくことを願つた人々の祈りが込められているようです。」との説明に古代のロマンを感じました。展示されていなかつた北房ゆかりの出土品も収蔵庫で見ることができ、充実した一時でした。

セントダムに見学の後、近うえに在る中山茶臼山古墳と尾上車山古墳にも行きました。古墳への道の入り口にある「尾上車山古墳」100mの道の道しるべを見て山道を上りましたが全く見当たりません。引き戻して、途中の分かれ道近くの畠で作業をしている地元の人に尋ね、やつとたどり着くことができました。分かれ道にも道しるべがあつたらと思い、道するべの大切さを感じた研修でした。（畠田正博）

北房の魅力を全国に

## 西の明日香村へ 道しるべを！

「全国初の五段方墳」「天皇陵級の五段構造墳」「西の明日香へ熱いまなざし」平成五年五月に山陽新聞が報じた記事で、五月二十九日の現地説明会には全国から四百人近い考古学ファンが詰め掛けたとも報じている。

この大谷一号墳の発掘調査の後、定古墳群の発掘調査が行われ、その成果を踏まえて、平成十七年十月山陽新聞が、「大和のくさび象徴」のタイトルで七世紀の北房の古墳の持つ意義について大きく報道した。発掘を指揮した岡山大学の新納泉教授（当時）は、

「定東塚古墳は天皇陵のミニチュア版で、副葬品の金糸は全国で数例しかなく、金のリングは類例がない。」また、「吉備北部の有力者は、蘇我氏が吉備中枢の伝統勢力を押さえるのを助けて地位を高めた。それを示

すのが方墳や金の装飾品でしょう。」

と語っている。

つまり、定古墳群の被葬者たちが吉備勢力を押さえ、大和政権の中央集権化に貢献したということで、古代史上大きな役割を果たしたことになる。

また、吉備の中枢では古墳が殆ど築かれなくなつた飛鳥時代に、この盆地では段構造の方墳が六基継続して築かれており、畿内を除くと西日本で例がないと言われている。

さらに、荒木山東塚から約四百年間、首長墳が連綿と築かれており、北房はま



「西の明日香へ熱いまなざし」と報じた平成5年5月30日の山陽新聞の記事

さに「西の明日香村」と呼ぶにふさわしい里である。そうしたことから、全国から多くの方に訪れていた「道しるべ」を建てるこを始めています。

案内マップを片手に、この美しい山里をのんびり散策してもらいたいのです。

そして、何より地元の私たちが近くに在る古墳や遺跡について学び、来訪者に語れるようになりたいのです。

「西の明日香村」は、ゲンジボタルやコスマス街道でも有名です。この里で暮らす我々の営みそのものが「西の明日香村」を創つて行くのです。

皆さんのご理解とご支援

を心よりお願い致します。

（久松秀雄）

## 3D写真で故郷を撮る 100年前の技術も捨てた物ではない

に浮く円錐台が見えます。3D写真を撮る時、右側で撮り、次に横に4cm水平移動して左側を撮ります。そのプリントを左右間4cmにして合わせると裸眼で奥行きのある3D写真が見えます。また、100均のC

オ写真技術で故郷北房等を立体（3D）写真にてフェイ

スブック配信しております。

私は、メガネの三城で利

き眼、3D視力検査をして

おりました。これらは就学

前に行います。

日本人の左利きは手で一

割、眼で三割です。また、

3D視力が弱いと言われて

います。漢字やカメラは手

・眼共に右利き用に作られ

ています。3D写真は、ス

ポーツ・映画・考古学など

幅広く活用されています。

3Dには左右二つの写真が

要ります。

円錐台に北房の字を載せ

ります。

た時、図の様に左右が異な

ります。

今、世界は3Dに音、匂

い、振動、触感を加えた6

D、大容量高速通信6Gの

時代です。「北房デジタル

4D VR館」を設立し、北

房の文化・自然遺産をドロ

ーン活用で5D、5Gを發

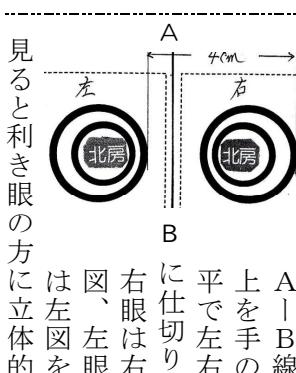
信したいです。それによつ

て、VR技術でスマホで実

物大の立体映像・動画を視

聴してもらえます。

（山本昇）



見ると利き眼の方に立体的

に仕切り、右眼は右図、左眼は左図を

ます。

今、北房文化センター

ビーに醍醐桜・神庭の滝な

どの3D写真を展示してお

ります。裸眼でも見えます

がスマホに取り込めばゆつ

くりご覧いただけます。

今、世界は3Dに音、匂

い、振動、触感を加えた6

D、大容量高速通信6Gの

時代です。

4D VR館」を設立し、北

房の文化・自然遺産をドロ

ーン活用で5D、5Gを發

信したいです。それによつ

て、VR技術でスマホで実

物大の立体映像・動画を視

聴してもらえます。